



野菜研究所ニュース

No.20 2017. 10

あおもりの未来
技術でサポート

青森県産業技術センター 野菜研究所

<掲載記事>

- ドローンでナガイモ薬剤散布
- 植物光合成を測る
- アメリカからバイヤー来所
- ナガイモ長大系統検討会
- 公開デー



9月19日：地面にナガイモ葉の吹きだまりが発生

台風18号が9月18日に接近。日最大瞬間風速29.2m/sを記録。

ドローンでナガイモの薬剤散布

青森県、全国農業改良普及支援協会、株式会社クボタらの協力を得て、7月の下旬から3回、ドローンによる薬剤散布を行いました。ナガイモ栽培は支柱があるなど、スプレーヤによる防除に難点があり、省力化の要望が高まっています。この試験では、ドローンとブームスプレーヤの病害虫発生状況、薬剤の付着程度、作業時間などを調査し、比較検討することになっています。

今後は、ドローンによる防除に使用できる薬剤が少ないため、その充実が求められています。



ナガイモほ場で薬剤散布用のドローンを飛ばす

植物光合成計測に関する研修会

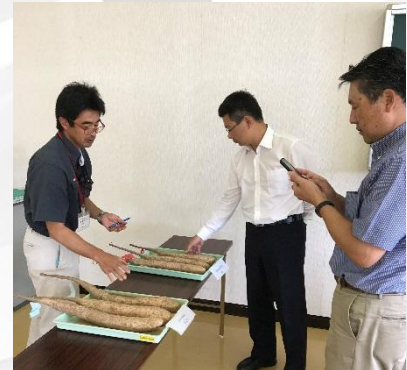
8月7日、当研究所において、岩手大学農学部より鈴木雄二准教授を招き、植物光合成計測について研修会が開催されました。鈴木准教授からは、測定により何がわかるのか、測定方法の実際、現在開発中の測定器について解説頂きました。今回の研修を試験研究へつなげていきたいと考えています。



計測実習の様子

ナガイモバイヤーと意見交換

8月30日、青森県農林水産物輸出促進議会の招請により、アメリカのバイヤーを迎え、ナガイモの生産・輸出について意見交換しました。野菜研の研究実施状況を見学し、新系統の試食もしてもらいました。アメリカの消費者は農薬の使用に敏感であること、中国産の品質も向上してきたことなど、確認しました。



説明を聴くアメリカのバイヤー
左は解説する前嶋研究管理員

ながいも長大系統現地検討会

8月31日、東北町、十和田市、及び当研究所において、県関係機関、JA全農あおもり、各農協から参加を得て、ながいも「園試系23号」の現地検討会が開催されました。

当研究所からは生育状況について解説し、生育・肥大が良好であることをみていただきました。



東北町の現地の様子を聞く参加者

3つの研究所が合同で公開デー

Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター
あまの未来、技術でサポート

♪ 3つの研究所が合同で開催 ♪

公開デー

平成29年 **9月8日(金)**
9:00~15:00
会場 野菜研究所・農産物加工研究所

野菜研究所
にんにくづくりの
飛躍を期して
～病害虫防除と乾燥法～

農産物加工研究所
食品加工と色
～ニンニクと地サイダー～

農総研産坂稲作部
冷めてもおいしいご飯
あさゆき

ミニ講座日程

研究成果紹介	ミニ講座 10:00~12:30
成果展示	「失敗しないニンニクの乾燥法」
相談所	10:30~11:00
所内見学	「ニンニクの育苗について」
試食	11:00~11:30
野菜販売	「イモグサレセンチュウ・チュウリップサビダニを知る」
にんにく共進会	11:30~12:00
最新農機実演会	12:00~12:30
	「黒ニンニクを知る」
	「低アミノ酸米新品種（あさゆき）の特徴と栽培のポイント」

主催 地方独立行政法人青森県産業技術センター(青森産技)
野菜研究所(野菜研)・農産物加工研究所(農加研)
農林総合研究所(農総研)

会場 上北郡六戸町大字犬落瀬字柳沢91
電話 0176-53-7171
FAX 53-1315



並んで野菜を買い求める皆さん

9月8日、当研究所と農産物加工研究所において、
坂稲作部と併せ公開デーを開催しました。近隣の
市民の皆様ら700名余りの方がおみえになりました。

天候にも恵まれ、「にんにくづくりの飛躍を期して」
をテーマにしたミニ講座やパネル展示で技術を紹介
しました。共催のにんにく共進会では農家の皆様
が丹精込めてつくった立派なニンニクが並んでいま
した。また、最先端省力化農業機械の実演も今年
初めて行い、興味津々でみていただきました。



にんにく共進会とパネル展示



無人走行トラクターで
ほ場を耕起